

## 平成28年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b> <input checked="" type="checkbox"/>	<b>評価対象</b> <input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b> <input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b> <input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b> <input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	村石 保
	<b>全体計画</b>			<b>経費区分</b>	<b>実施計画事業費</b>	<b>内線</b>	3412
<b>事務事業名</b>	4161 農業後継者対策事業						
<b>所 属</b>	150100 産業振興部・農林課						
<b>施 策</b>	05012100 農業の活性化						
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計					
	<b>科目</b>	060103 農林水産業費・農業費・農業振興費					
	<b>事業</b>	030000 農業後継者対策事業					
<b>事業目的</b>				<b>事業概要・効果</b>			
農業従事者の高齢化、後継者不足の状況の中、多様な担い手の確保・育成し、支援していく。				自分で農地を持って農業経営を開始した青年農業者への支援として、青年就農給付金（経営開始型）を給付する。給付金は、収入が不安定な経営開始後の所得を確保するものとして、1人当たり年間150万円（夫婦型は225万円）を最長5年間給付する。 研修期間中の者には、県から青年就農給付金（準備型）が支給される。 どちらの給付金も国からの補助金が財源であるが、そのほかに市独自の支援を行い、新規就農者を確保する。			

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>平成27年度 実績</b>	<b>平成28年度 予定</b>
1 新規就農に向けて研修を受ける者に月2万円（国の青年就農給付金準備型受給者には月1万5千円）を25名に給付。 2 青年就農給付金（経営開始型）を（8名＋1組（夫婦））給付。	1 新規就農に向けて研修を受ける者に月2万円（国の青年就農給付金準備型受給者には月1万5千円）を25名に給付予定。 2 青年就農給付金（経営開始型）を12名に給付予定。
<b>平成29年度 予定</b>	<b>平成30年度 予定</b>
<b>平成31年度 予定</b>	<b>平成32年度 予定</b>

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		14,343	29,961
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	14,250	21,750
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		93	8,211
人員数(人)	正規職員	0.5	0.6
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	3,604.0	4,324.8
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	3,604.0	4,324.8
市民一人当たりの経費		0.3	0.7
総額		17,947.0	34,285.8

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	11	謝礼 11
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	14,250	補助金青年就農給付金14,250
その他	82	保険料4 土地借上料 78

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	29,690	青年就農給付金15,000 新規就農研修給付金4,680 新規就農者支援事業補助金980
その他	271	土地借上料など

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	新規就農者、里親研修生などの受入れができています。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	新規就農者の増加が図れている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	国等の補助を取り入れている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

給付金等の支援策終了後の、安定した農業経営の継続を図れるように支援をしたい。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>新規就農者も着実に増加している。今後も現在の取り組みを継続し、要望のある作業所等の設置等にも対応したい。</p>		<p>全国有数の果樹産地であるが、従事者の高齢化と担い手不足が課題となっている。引き続き関係機関と連携し、新規就農者をはじめ後継者の育成・支援を行い、課題解決を図る。</p>	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	